香美市文芸

風の流れ

【短歌】

楠瀬　兵五郎　選

大岩の前のダチュラはすでに枯れ曇れば潮の照ることもなし　佐竹　玲子
さわさわと稲原を過ぐる朝の風道に望みてははをかなしむ　坂上のぶ子
花の前に青年の奏づる「故郷」はこころを誘ふ夕暮れにつつ　小松もとみ
繁茂して着果遅るるメロン類花冷えに五月六月の雨　大岸由起子
三嶺の頂上近き青ザレの雨の絶壁を降りし思ひ出　岡林　華伝
梅雨に入り乾ける土の潤ひて野菜の新芽一気に勢ふ　山﨑かつみ
稜線に風車発電塔つらねたる試みを見る小村東津野村　小野川惠仁
スイレンの花云う親子池水に映る花いうモネの庭のわれ　佐々木真里
スイマシェン真似に注文のボタン押し孫は喜ぶ母の日の席　伊藤　清子
「愛なくしてなんの教育ぞ」叱らない岡上菊栄の姿勢に学ぶ　古屋　由美
我の手にキューリの弦が巻きついた朝のひと時元気みなぎる　宮地　亀好
つばくろの納屋の中の巣二番子を育てカーテンの隙間しきりに出入す　山﨑　緑
妹の祝ひ呉れたるケーキの灯きらめきゆるる今をいとしむ　有澤　泰子
腰痛をこらえて庭石に蕗の皮剥ぎいし母をしのぶひととき　山本　太幸
草かずら覆いて久しきゆずの木に白き小花があぁ咲いている　小原　子川
車椅子の妻と来れりかつて我が花卉の畑ありし子供遊園地　高野　和一
楮佐古を通ってかよう我が母校その里に住む君の歌あり　森本　幸美
動力噴霧機背負いて稲の消毒す泥田に時によろめきながら　楮佐古きよ
白寿荘知る人多く暮らしおりおいでおいでの言葉も嬉し　鍵山　春子
わが靴のサイズに近き孫の上ばき干されてありぬ梅雨の晴れ間に　古川　安子
痛き腰かばひて草刈るわが前を燕はついと旋回しゆく　公文　正子
朝顔の種取りしまま梅雨に入り「植ゑて」と言ひゐる芽に気付きたり　大石　綏子
空襲に果てたる兄は少年のままに凛凛しも六十五年　竹村　咲子
山梔子の香り広がる縁側にいく度となく花を数ふる　出原　久子
別府峡のあじさい眺め湯浴みする笑顔えがおで寿命のびたり　門田　明子
久々に山また山を越えゆきて龍馬の歩みし樹々の間に立つ　林田　幸子
青鷺の一羽まじりし鷺の群れ紙カン一発青田を舞い立つ　北村佐喜子
ＪＲの昇り降りする階段を手すりに触れず頑張りてみる　松中　賀代
子に送る玉葱の箱抱へ持ちわが作品の評価を計る　高橋　章
眉うすき天平仏像拝顔し夏の大和路に心安らぐ　小松　禮子
大雨が太きあぢさゐを叩きつく崩れはせぬかと見上ぐる前山　武内　弘子
除草剤に枯れし空畑の大草に梅雨の雨打つ昨日も今日も　西尾　玉喜
瞬きをするたび揺るる街灯かり去りゆく夏のかけらのごとし　山﨑　貴子
歌人のこよなく愛でし猪野沢の七夕の夜の紅の火灯る　小松　隆之
胡瓜かむ音さわやかに白珠の孫の歯並び夏かがやきて　谷内　務
二尾の鮎空を飛ぶがに網に入る釣人の背に夫のまぼろし　吉本　悦子
さかやきも生えふすぼりて半平太あらがい生きし命をかけて　公文　千恵
陶の花英彦山姫沙羅手向けたし同じ名もちて旅立ちし人　小松　敏子
宵闇の井川の面をたかくひくく精霊のごと蛍とびおり　尾立　かよ
暑さ言う盆の詣りの務め終え一人筆山のみ墓を探す　横田直加子
入浴に肩持ち上げられ痛む胸眠れぬ夜半を左手でなでて　門脇　千代
上井の水満ちて流れはゆるやかに今を盛りのあじさいも見ぬ　竹村　稔美
わが心まあるくなあれ丸くなれ平穏無事を願ひ米とぐ　大石沙智子
札幌の街にひびけりよさこいの老舗と言はれ弾ける我も　法光院俊子
驟雨すぎ闇の深きに散る花火間延びの音もつつむ虚空は　楠瀬兵五郎

※俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。投稿方法は自由です。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】香美市役所企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）　FAX 53－5958

おわび　8月号『風の流れ』の韮句会の中に、氏名のみの掲載がありました。おわびいたします。

図書館だより

市立図書館

新着本の紹介（市立図書館）

〔大人向け〕
▽乙女の密告（赤染晶子）▽小さいおうち（中島京子）▽やっちゃれ、やっちゃれ！独立・土佐黒潮共和国（坂東眞砂子）▽僕は長い昼と長い夜を過ごす（小路幸也）▽13歳からの心を強くする子育て（柳町道廣）▽長宗我部（長宗我部友親）▽土佐藩（宅間一之）

〔子ども向け〕
▽かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん！前編（原ゆたか）▽おもしろい話が読みたい！・ラブリー編（あさのあつこ他）▽おもしろい話が読みたい！・ワンダー編（松原秀行他）▽結婚式の妖精ミア（デイジー・メドウズ）▽おばけのアッチとドララちゃん（角野栄子）▽ぼくのしんせき（青山友美）

新着本ズーム

乙女の密告
外国語大の女子学生たちが、「アンネの日記」のドイツ語での暗唱に取り組む姿をユーモアを交えて描き、アイデンティティーとは何かを考えさせられる。（第143回芥川賞受賞作）

小さいおうち
戦前戦中に女中奉公した女性が、戦後60年以上たってから美しい「奥様」と過ごした日々を追想する。（第143回直木賞受賞作）

13歳からの心を強くする子育て
中学・高校と揺れ動く世代の子育てを、現役の校長が日々の学校での出来事を交え、教師として父親として語る。

おすすめの1冊

「1Q84」BOOK1、BOOK2
（作：村上春樹）

言わずと知れた村上春樹の大ベストセラー。社会現象にもなりました。スポーツインストラクターと暗殺者、２つの顔を持つ『青豆』と、作家志望で予備校教師の『天吾』のちょっと変わった初恋の物語。舞台は１９８４年の東京。互いの思いを知らぬまま離れた相手を２０年思い続ける２人。２人はある事件をきっかけに１Ｑ８４の世界へ。青豆と天吾は無事に出会えるのか！？・・・ＢＯＯＫ３へ続く。

３０代女性（物部町）

吉井勇記念館だより

山峡の夕べ ―月とヴァイオリン―

十五夜に、韮生の山峡に建つ記念館を訪れてみませんか。皆さんのよく耳にする月をテーマにした曲をお楽しみいただけます。

ぜひ、この機会に猪野々を訪れ、ヴァイオリンの音色に耳をかたむけ、吉井勇の過ごした静かな猪野々の夜を味わってください。

【日時】 9月22日(水)
館内展示解説　18時～19時
コンサート　19時～20時
【場所】 吉井勇記念館
【参加費】 ４００円
【送迎バス】 定員20名
市役所西庁舎発　17時20分
記念館発　20時10分
※希望される方は、９月17日までにご連絡ください。
【ヴァイオリン奏者】 古江佐和子さん（高知楽器ヴァイオリン教室、高知香南ジュニアオーケストラ講師。猪野々在住）

香美市童謡を楽しむ会 ミニコンサート ―ゴンドラの唄を歌いましょう―

童謡を楽しむ会の皆さんと、楽しく歌いませんか。

島崎照代さん（メゾソプラノ）と長井薫さん（ピアノ）を講師に迎え、秋をテーマにした日本の曲を披露していただきます。プロとして活躍されている島崎さんに歌の手ほどきを受けて、歌の楽しさ、声の出し方を教えていただきましょう。

【日時】 10月16日（土）
14時～15時
【場所】 吉井勇記念館
※参加費無料
【合唱】 市童謡を楽しむ会
【講師】 島崎照代さん（日本演奏連盟会員、高知音楽協会代表、高知日独協会会員、女声合唱団リングライン指揮者。土佐山田町在住）
【演奏曲】 庚申堂の秋、ゴンドラの唄　他

【問い合わせ先】
吉井勇記念館
☎58・２２２０